



FUJIBO

The Focus on Innovation

第**203**期

中間報告書

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



代表取締役社長
いのうえまさひで
井上雅偉

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第203期上半期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、ワクチン接種の進行とともに、社会経済活動の再開に向けた行動制限の段階的緩和により、景気回復が図られております。しかしながら、新たな変異株の流行による感染再拡大の影響、米国の金利上昇による急激な円安進行や長期化するウクライナ情勢の影響による資源価格の高騰、物価上昇に伴う個人消費の低迷が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『増強21-25』において、計画期間5年間の前半3年を「高収益体質への転換と種まき」ステージと位置づけ、各事業の成長基盤の増強に取り組んでおります。計画2年目となる当期は、研磨材事業では、研究開発力の加速、生産能力の増強を進めました。化学工業品事業では、柳井・武生両工場がフル稼働を続けており、原材料高騰の影響が大きい生活衣料事業では、コスト最適化とコストアップに対応した価格改善に努めました。

この結果、当中間期の連結売上高は前年同期比1,999百万円（11.4%）増収の19,609百万円となり、営業利益は197百万円（6.3%）増益の3,343百万円、経常利益は175百万円（5.4%）増益の3,406百万円となりました。これに特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比52百万円（2.3%）増益の2,307百万円となりました。

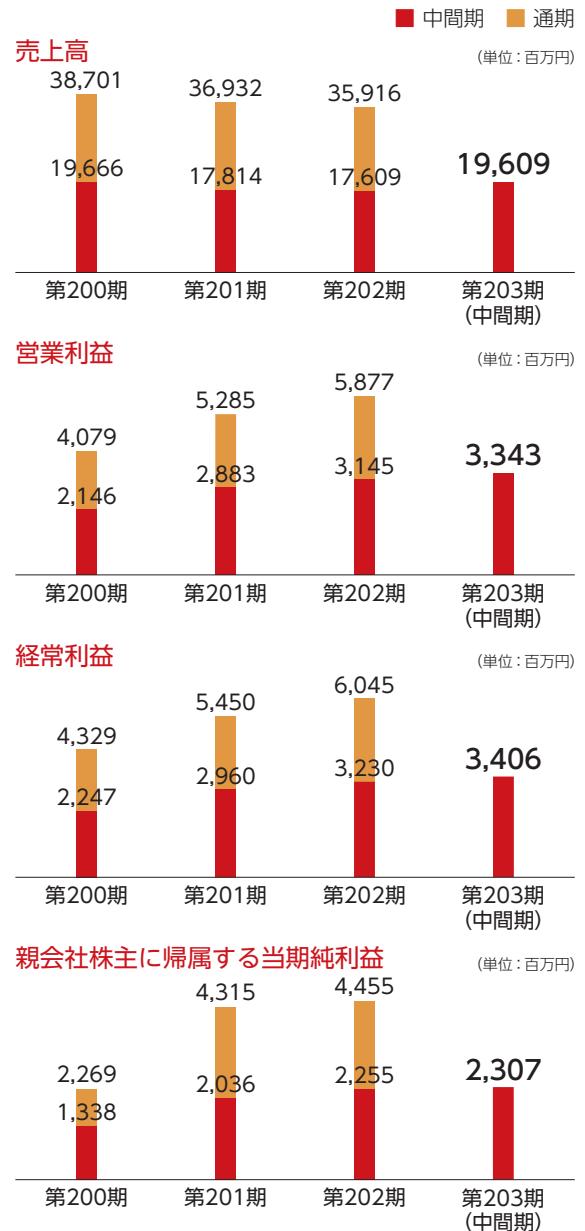
当事業年度の中間配当金につきましては、予定通り1株当たり55円とさせていただきます。

当社は、2021年度から2025年度を計画期間とする中期経営計画『増強21-25』を策定し、2021年4月よりこれを実行しています。本中期経営計画では、未来のありたい姿から導出した2025年像と現状の延長線上の2025年像とのギャップを特定し、中期的に取り組む施策を着実に実施します。加えて事業ポートフォリオの積極的な見直しと持続可能で儲かるビジネスへの転換を段階的に図ることにより、“圧倒的なニッチナンバーワン企業”を目指します。計画期間5年間の前半3年を「高収益体質への転換と種まき」ステージ、後半2年を「非連続的成長の実現」ステージと位置づけ、収益機会の増加と提供価値の強化を施策の両輪として、『稼ぐ力』を強化いたします。同時にDX(デジタルトランスフォーメーション)の継続・深化にも取り組み、各事業の成長基盤を連続的・非連続的に「増強」していきます。さらに、社会の要請であるサステナブルな社会を創るための施策を提案し、実行してまいります。

計画期間の前半3年間では、環境変化に応じた事業ポートフォリオの見直し、持続可能で儲かるビジネスへの転換を段階的に進めています。主力事業として成長を続ける研磨材事業では、安定成長が見込まれる半導体需要拡大を念頭に、長期的な視点に立ち、研磨材開発のスピードアップと、各生産工場有能力増強投資を加速させ、多様かつ高度な顧客ニーズに応える生産体制の構築にも取り組みます。化学工業品事業では、更なる事業規模拡大のため、生産能力拡大に向けて様々な取り組みを進めます。生活衣料事業では、徹底した原価管理による適正な価格設定や収益性の高い製品への絞り込みと、販売データとSNS等広告手法の活用により、新たな顧客開拓に取り組みます。その他の事業では、化成品部門はグループ内での同一事業を集約化し、意思決定のスピードを高め、事業の効率化を図ります。加えて、金型部門は新たに金型の事業会社をグループに迎え、重点3事業に続く第4の柱事業として育成すべく基盤整備を進めています。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月



売上高構成比
43.4%

研磨材事業 売上高 8,507百万円 営業利益 2,178百万円

主力の超精密加工用研磨材は、ハードディスク用途および液晶ガラス用途は、巣ごもり需要一巡後の反動減により、主要ユーザーの一部が生産調整および在庫調整を実施し、受注が減少しました。一方、シリコンウエハー用途および半導体デバイス用途(CMP)などは旺盛な半導体需要に、世界的な半導体不足が拍車をかけ、需要が拡大しました。

この結果、売上高は前年同期比1,170百万円(16.0%)増収の8,507百万円となり、営業利益は191百万円(9.7%)増益の2,178百万円となりました。



売上高構成比
31.3%

化学工業品事業 売上高 6,130百万円 営業利益 701百万円

機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などの受託製造は、国内需要の回復に加え、中国における環境規制の影響や新型コロナウイルス感染症拡大による海外生産リスクも顕在化したことで、化学工業品生産の日本国内回帰の傾向が続き、農薬用、機能性材料用を中心に安定生産を継続することができました。また、売上は順調に推移したものの、原材料・原燃料の高騰の影響を受け、利益は圧迫されました。

この結果、売上高は前年同期比551百万円(9.9%)増収の6,130百万円となり、営業利益は33百万円(4.5%)減益の701百万円となりました。



生活衣料事業

売上高 3,632百万円 営業利益 400百万円

売上高構成比
18.5%



生活衣料事業は、コロナ感染の拡大と収束を繰り返すなか、繊維素材は、原燃料や物流費の高騰、さらに円安の影響を受け、コストが大幅に上昇し、厳しい環境が続きました。一方、繊維製品は、より収益性の高い製品への絞り込みに加え、変化する顧客行動に対応したEC販売の更なる強化により、需要が堅調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比126百万円(3.6%)増収の3,632百万円となり、営業利益は1百万円(0.3%)増益の400百万円となりました。



その他の事業

売上高 1,338百万円 営業利益 63百万円

売上高構成比
6.8%



化成品部門は、デジタルカメラ用部品および医療機器用部品は、部品・部材の供給不足が徐々に解消しつつあり、需要が回復しました。また、金型部門は、自動車業界が半導体不足による減産が続くなか、需要が堅調に推移し、回復しました。なお、11月1日付で取得する子会社株式の取得関連費用が発生しました。貿易部門は、収益性、安全性の高い取引を対象を絞り、採算性を改善しました。

この結果、売上高は前年同期比151百万円(12.7%)増収の1,338百万円となり、営業利益は37百万円(146.7%)増益の63百万円となりました。



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 2022年9月30日 現 在	前 期 2022年3月31日 現 在	科 目	当中間期 2022年9月30日 現 在	前 期 2022年3月31日 現 在
資産の部	61,295	58,531	負債の部	18,813	18,034
流動資産	24,771	22,544	流動負債	12,386	11,476
現金及び預金	8,825	8,330	支払手形及び買掛金	4,884	4,955
受取手形及び売掛金	9,415	8,510	電子記録債務	1,078	928
商品及び製品	1,424	1,103	短期借入金	1,418	1,306
仕掛品	2,496	2,098	未払法人税等	927	754
原材料及び貯蔵品	1,774	1,321	賞与引当金	709	648
その他	852	1,196	その他	3,368	2,882
貸倒引当金	△17	△16			
固定資産	36,524	35,987	固定負債	6,426	6,557
有形固定資産	33,074	32,572	長期借入金	30	60
建物及び構築物	10,330	10,072	退職給付に係る負債	4,287	4,376
機械装置及び運搬具	7,541	7,672	資産除去債務	332	324
土地	13,851	13,798	その他	1,777	1,797
その他	1,350	1,029			
無形固定資産	559	605	純資産の部	42,482	40,497
			株主資本	39,718	38,015
投資その他の資産	2,889	2,808	資本金	6,673	6,673
			資本剰余金	2,206	2,196
資産合計	61,295	58,531	利益剰余金	31,353	29,676
			自己株式	△515	△530
			その他の包括利益累計額	2,763	2,481
			その他有価証券評価差額金	631	632
			繰延ヘッジ損益	0	1
			土地再評価差額金	1,540	1,540
			為替換算調整勘定	622	334
			退職給付に係る調整累計額	△31	△27
			非支配株主持分	0	0
			負債純資産合計	61,295	58,531

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	
	2022年4月1日～ 2022年9月30日	前中間期 2021年4月1日～ 2021年9月30日
売上高	19,609	17,609
売上原価	12,570	11,039
売上総利益	7,038	6,569
販売費及び一般管理費	3,694	3,423
営業利益	3,343	3,145
営業外収益	219	188
受取利息	0	0
受取配当金	30	26
固定資産賃貸料	174	143
その他	13	17
営業外費用	156	103
支払利息	6	6
固定資産賃貸費用	40	37
為替差損	65	14
その他	43	45
経常利益	3,406	3,230
特別利益	2	2
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	—	0
特別損失	40	63
固定資産処分損	40	45
減損損失	0	7
その他	—	10
税金等調整前四半期純利益	3,367	3,170
法人税、住民税及び事業税	1,014	887
法人税等調整額	45	27
四半期純利益	2,307	2,255
非支配株主に帰属する 四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,307	2,255

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	
	2022年4月1日～ 2022年9月30日	前中間期 2021年4月1日～ 2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・ フロー	2,126	5,061
投資活動によるキャッシュ・ フロー	△1,005	△3,140
財務活動によるキャッシュ・ フロー	△699	△707
現金及び現金同等物に 係る換算差額	71	10
現金及び現金同等物の 増減額 (減少:△)	493	1,223
現金及び現金同等物の 期首残高	8,315	4,571
現金及び現金同等物の 四半期末残高	8,808	5,795

研磨の最前線と向き合い、 グローバルニッチNo.1へ

デジタル技術を事業変革に活かすDX（デジタルトランスフォーメーション）への期待もあって、半導体デバイスとその基板となるシリコンウエハーの需要が急拡大しています。また、カーボンニュートラルの実現に欠かせないといわれているパワー半導体用SiC基板の需要も飛躍的な拡大が見込まれています。



半導体関連産業に超精密加工用研磨材を供給するフジボウ愛媛(株)では、お客様のニーズに寄

り添った研磨材（研磨パッド）の製造・開発を進めるため、営業・開発・製造の各部門が一体となって研磨の最前線と向き合っています。

お客様からの高い品質要求に応えるため、新型の加工機械やAIを活用した検査機などを導入して生産体制を強化するとともに、研究開発においては半導体集積回路の微細化要求に対応するための最新の評価機器の導入に向け準備を進めています。



業容拡大に向け、環境に 配慮した大型倉庫を新設

柳井化学工業(株)が展開する機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などの受託製造事業は、世界的に



原燃料価格が高騰するなかでも、販売先の堅調な需要に支えられ拡大基調で推移しています。

今般、今後

の新プラント建設を視野に入れ、柳井本社工場では大型の倉庫を新設しました。これにより、保管スペースが充

実したことに加えて、拡大が必要となる品質管理部門の執務エリアを確保することができました。建物の仕様として、太陽光パネルを設置したZEB（Zero Energy Building）設計とし、BELS（第三者機関による建築物省エネルギー性能表示制度）認証を取得しました。本棟に加え事務所棟、施設作業棟、既設倉庫を再生可能エネルギーで運営する体制となります。今後も環境に十分配慮しながら、更なる事業拡大に取り組んでまいります。



社会と環境にもやさしく

ビジネスの世界でも社会との共生が課題となっています。生活衣料事業では環境負荷低減などサステナブルな社会の実現に向けた取り組みを進めています。

B.V.D.ブランドの主力商品であるB.V.D.GOLDのパッケージには、焼却時のCO₂排出量を大幅に削減するグリーンナノCO₂ OFFを採用。他の商品においても下げ札



に適切な森林管理のもとで作られたFSC認証の紙製タグを使用しています。

また、フジボウグループは、衣類のリユースを通してパラスポーツを応援する「ふくのわプロジェクト」のオフィシャルパートナーとしても活動しており、本年度は日本パラバレーボール協会とともに7月に中央区立佃中学校（東京都）でパラバレーの体験会を開きました。パラバレーは、障がいのある人もない人もだれもが楽しめる生涯スポーツです。参加した110人の生徒は、監督や選手から競技方法やルールを学びながら共生社会への理解を深めました。



成形と金型の連携強化を図る

グループの第4の柱に育てるべく、化成品事業における成形部門（化成品部門）と金型部門の連携を強化しています。

2022年10月に樹脂射出成形を行ってきたフジボウテキスタイル(株)大分工場の成形部門をフジケミ(株)に移管させました。成形部門をフジケミ（大分工場・本庄工場）に集約しセグメント



ごとの事業戦略をより一層明確にすることで、製造面・営業面での効率を追求し、収益性をさらに向上させる狙いがあります。一方、2018年にグループ入りした(株)東京金型では、グループ内やグループ取引先からの金型受注の比率を高めており、本年度はより一層増加する見通しとなっています。これらの連携により、フジケミが東京金型の取引先から成形品を新規に受注するという新たな取り組みも現在進めています。

化成品事業は、今後、成形部門と金型部門の更なる連携強化を進めることで、販売先や用途を広げ、シナジー効果の最大化を目指します。



Topics

3

生活衣料事業

Topics

4

化成品事業

会社概要

商号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大阪支社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設立	1896年3月24日
資本金	66億7383万2000円
従業員数	単体117名 連結1,245名
主要な事業内容	1. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 2. 各種化学工業品の製造、加工、販売 3. 各種繊維製品の製造、加工、販売

連結対象会社

■ 研磨材事業

フジボウ愛媛(株)

台湾富士紡精密材料股份有限公司

フジケミ(株)

■ 化学工業品事業

柳井化学工業(株)

■ その他の事業

フジボウテキスタイル(株)

フジケミ(株)

(株)東京金型

(注) 当社は、2022年11月1日付で(株)GFIホールディングスおよび(株)IPMを子会社化しております。

■ 生活衣料事業

(株)フジボウアパレル

ジンタナフジボウコーポレーション

フジボウテキスタイル(株)

タイフジボウテキスタイル(株)

富士紡(上海)商貿有限公司

役員

代表取締役社長 社長執行役員	井上雅偉
代表取締役 副社長執行役員	吉田和司
代表取締役 専務執行役員	豊岡保雄
取締役 上席執行役員	望月吉見
取締役 上席執行役員	平野治
取締役	ルース・マリ・ジャーマン
取締役	小林久志
取締役	佐藤梨江子
常勤監査役	松尾弘秋
常勤監査役	大西秀昭
監査役	生田目克
監査役	大塚幸太郎

(注) 1. 取締役のルース・マリ・ジャーマン、小林久志、佐藤梨江子の3氏は社外取締役であります。
2. 監査役の大西秀昭、生田目克、大塚幸太郎の3氏は社外監査役であります。

執行役員

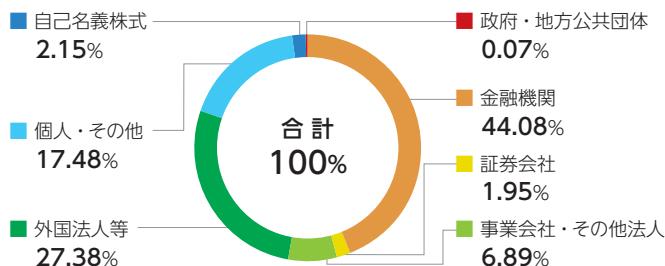
専務執行役員	木原勝志
専務執行役員	藤岡敏文
上席執行役員	野口篤謙
上席執行役員	鈴木眞
上席執行役員	安藤興司
執行役員	岡田祐明
執行役員	中村隆夫
執行役員	戸坂浩二
執行役員	清水康弘

(注) 2022年10月1日付で佐々木辰也氏が執行役員に就任いたしました。

株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,720,000株
株主数	5,796名

所有者別分布状況



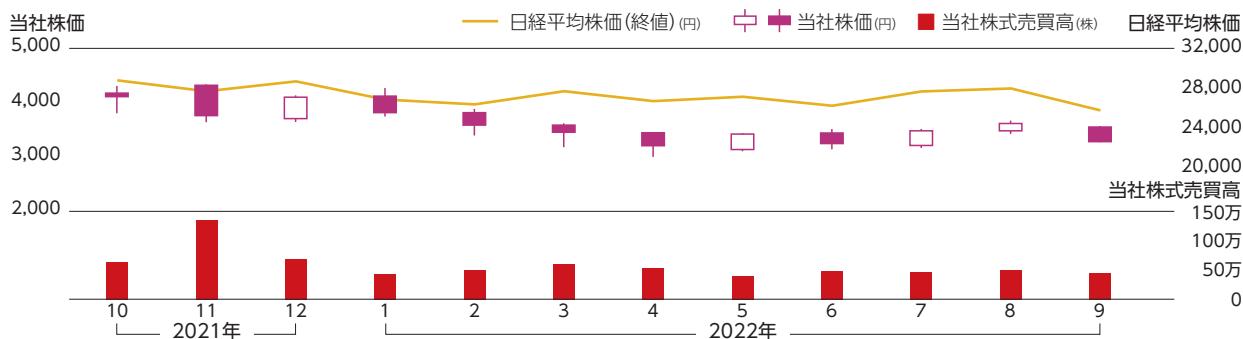
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,058,300	17.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	962,400	8.39
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	777,297	6.78
BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS - PACIFIC POOL	559,900	4.88
明治安田生命保険相互会社	533,500	4.65
株式会社三菱UFJ銀行	500,000	4.36
三菱UFJ信託銀行株式会社	322,500	2.81
フジボウ共栄会	297,300	2.59
福岡 務	206,200	1.80
AGC株式会社	197,000	1.72

(注) 1. 当社は自己株式を252,507株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.fujibo.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12
電話 03-3665-7777(代)



<https://www.fujibo.co.jp/>

